

ままプチさろん 参加者募集

今回は、地域で活動する「健康づくりリーダー会」の皆さんが参加します。

一緒に「ものづくり」や「おしゃべり」を楽しみませんか。

内容 もの作り「タコモック」・健康プチ講話

とき 12月3日(金)

午前10時～11時30分

ところ 保健センター

対象・定員 妊婦15人

持ち物 母子健康手帳

費用 100円

申込方法 12月1日(水)までに保

健福祉グループへ電話で申し

込んでください。

※定員になりしだい締め切りま

す。

申込・問合せ先

いきいき広場内保健福祉グル

ープ



第7回個別ケア研究会 IN西三河 テーマ 「看取りについて」

人生を終える場所、その時を

迎えるご本人やご家族の心の準

備など、色々な立場から看取り

をテーマに、勉強会および報告

会を開催します。

とき 12月5日(日)

午後1時～3時45分

ところ こもれびの里・高浜1

階ホール

講師 村木寛茂先生(こもれび

の里・高浜施設長)

参加費 無料(定員100人)

申込・問合せ先

こもれびの里・高浜排泄ケア

相談室

5317777

認知症よろず相談室

認知症は、まだ治療法が限ら

れています。

・認知症の予防や症状への対応

・利用できる医療・介護サビ

スについて

・本人の暮らし・権利を守るし

くみについて

など、本人も家族もしっかり

知っておくべきことがあります。

認知症への理解を深め、それ

その課題に対応していただ

るよう、医師による無料相談を

行います。

認知症について困っている

方、お気軽にご利用ください。

とき 11月17日(水)、12月1日

(水)、12月15日(水)

午前10時～11時30分

ところ いきいき広場

申込・問合せ先

地域包括支援センター

5219610



耐震

無料耐震診断

平成7年に発生した阪神・淡

路大震災では、6,400人を

超える尊い命が犠牲となりまし

た。

その内の8割以上が建物の倒

壊による圧死や窒息死で、特に

昭和56年5月31日以前の旧建築

基準で建てられた木造住宅に大

きな被害が出ました。(昭和56

年の建築基準法改正以前の建物

は一般的に見て耐震性が低いと

言われています。)

大地震からご自身やご家族の

生命や財産を守るためには、ま

ずは耐震診断を受診し、必要に

応じた耐震補強を行うことがと

ても重要です。

そこで市では、耐震性が弱い

といわれている昭和56年5月31

日以前に着工した木造住宅を対

象に、無料耐震診断を実施して

います。

過去に市の無料耐震診断を受

診した住宅は、再受診いた

だくことはできません。

借家の場合は、居住者の同意

書が必要です。

耐震改修をお勧めします

無料耐震診断を受診した方で

診断結果が「倒壊する可能性が

高い」・「倒壊する可能性があ

る」と判定された場合、市は、

耐震改修費の一部補助を行って

います。

対象工事

市が実施する無料耐震診断の

上部構造評価点が0.7未満の場合、

改修後の上部構造評価点を

1.0以上とする補強工事

補助額

一般世帯：工事費と設計費を

合わせ、最高85万円まで

高齢者等世帯：工事費と設計

費を合わせ、最高105万円まで

耐震シェルター・防災ベッド

設置に対する補助制度

市の無料耐震診断を受診し、

「倒壊する可能性が高い」・

「倒壊の可能性がある」と診断

された方で、建物全体の耐震改

修が困難な場合において、住宅

内に安全な場所を確保し、ご自

身やご家族の生命を守る事を目

的として耐震シェルター及び防

災ベッドの設置に対する補助も

あります。

※耐震シェルターとは、地震発

生時に、お住まいの住宅から

生命を守るための装置で、住

宅内の一室に木材や鉄骨で強

固な箱型の空間を作り、安全

を確保するものです。



耐震シェルターの一例